

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知教育大学附属名古屋小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 461-0047
愛知県名古屋市東区大幸南1-126

E-mail : ありません

Website : http://www.np.aichi-edu.ac.jp/

児童生徒数：男子 379名 女子 373名 合計 753名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【総合学習】

①「命守り隊」〔防災〕

名古屋市防災センターの講師に出前授業をしていただいた。災害が起きたり、電気やガス水道がストップしたときであったりしても、ご飯を炊くことができるよう、アルミ缶でコンロを作成。次時では、作ったコンロを使い、実際にご飯を炊いた。実践を通して、身の回りのものを使って、ご飯を炊くことができることを知り、工夫をすれば命を守ることができることを学んだ。

②「エコアクション2015」〔エネルギー〕

校外学習にエコパルなごやと電気の科学館に出かけた。エコパルなごやでは、アルミカンカン（アルミ缶の小物入れ）・廃油石けん作りでは、製作だけでなく、環境に関する知識も身につけた。「地球上の水全てを牛乳パック100本とすると、わたしたちが使うことのできる水（淡水）はたったの小さじ2杯分しかない。」「一杯の油はお風呂200杯分のも水がないと魚が住めるようにはならない」といった話も聞いた。

※以上のような実践を、各学級で行っている。

【食育】

平成27年度の重点目標として「食事の重要性」「感謝の心」「食文化」を定め、学級活動の時間を活用して、学年の発達段階に応じた食に関する指導を行った。学校給食に出る献立や食品を教材として取り上げ、食べ物への興味・関心を高め、食べることの楽しさや重要性を理解することができるように進めた。また、低・中学年では食事を作ってくれた人や食べ物に感謝する心を育むため、高学年では身近な地域の食べ物や伝統的な食文化に触れるために、食材を使った体験的活動を行った。

【帰国児童教育】〔国際理解〕

帰国児童単学級と一般学級との合同または帰国児童3学級と一般学級との合同で、帰国児童の特性を基にして、一般学級の児童と相互啓発をしたり、在留国で触れてきた文化が人々の生活に根づいている理由を調べていきたいという気持ちを高めさせて活動に取り組みせたりして、海外で身に付けた好ましい知識・態度などの保持・育成を図ることができるような授業を行っている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）